

# 停電・断水時にトイレを流す方法

2021.10.8

## ◇トイレ使用のポイント

1. 地震の後に配管を点検して破損が認められたら、排水しないで下さい。
2. 小便是4リットル程度の水で流す。
3. 大便是6リットル程度の水を便器に一気に流し、ゴボゴボ音を確認する  
水が少ないと汚物が配管途中に滞留して配管づまりをおこします。
4. 下水臭防止に3リットルの水を入れる。
5. 1日1回8～10リットルの水を流し配管づまりを予防する。



1  
停電・断水時に、浴槽の残り湯などをバケツに6リットルを入れて用意する。



2  
バケツの水を、一気に流します。  
(周囲に水がはねない様、ご注意ください)



3  
「ゴボゴボ」という音とともに、流れます。  
音を確認して下さい。



4  
水が少なすぎると流れませんので、6リットルの水を用意してやり直してください。尚、排水が詰まっているときには水位が上がって溢れますので、詰まりを直してから行ってください。



5  
一気に流した水の勢いで水位が下がってしまった場合は、3リットル程度の水を静かに入れて水位を元に戻します。



6  
水位が下がったままですと、下水臭が上がってくる場合がありますので、水位は必ず元に戻しておいてください(封水)。

## 「停電・断水時にトイレを流す方法」 運用について

1. この資料は、TOTO・LIXILが配信している内容を参考に作成したものです。
2. 流す水量が少なくても便器から汚物は流れるが、配管途中に滞留すると配管づまりをおこすので水量は守って下さい。
3. 運用は、自己責任で実施して下さい。

郡山市緑ヶ丘地区防災連絡協議会